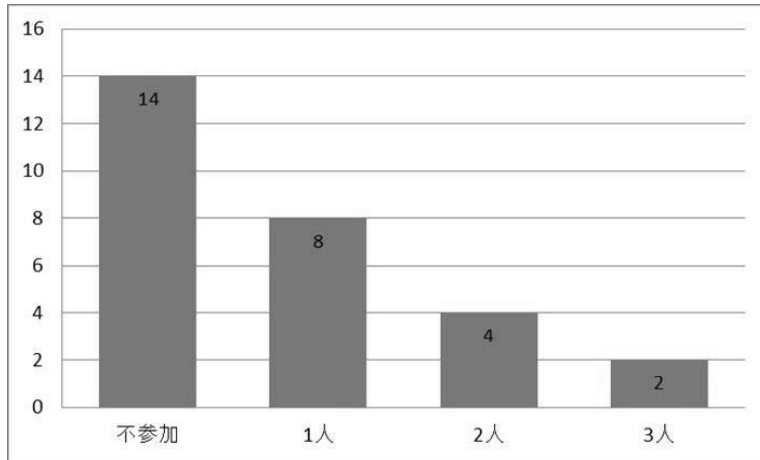


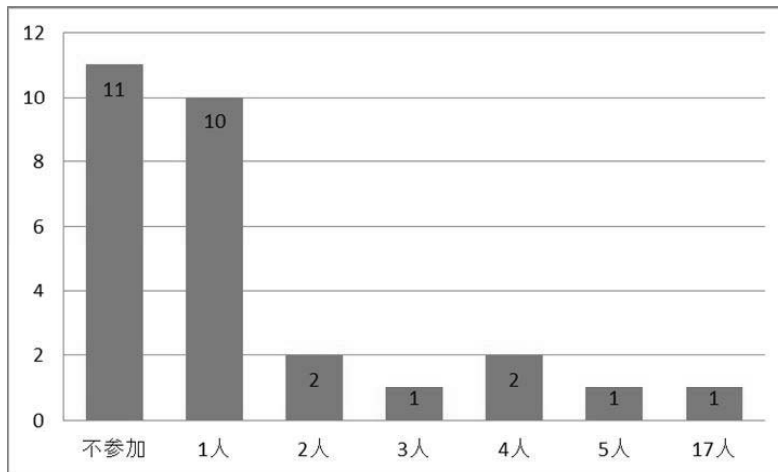
## 11 森林整備技術者養成研修 事業体アンケート

### (1) 受講生数の状況

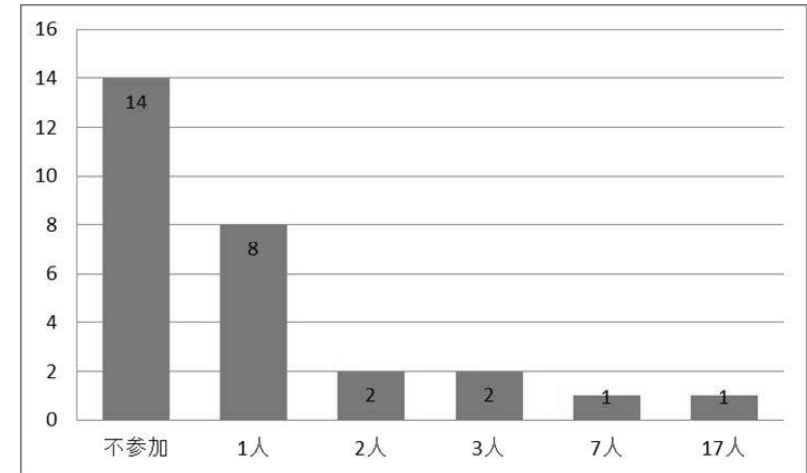
問1 あなたの会社から何人の受講生が参加しましたか  
平成21年度



平成22年度

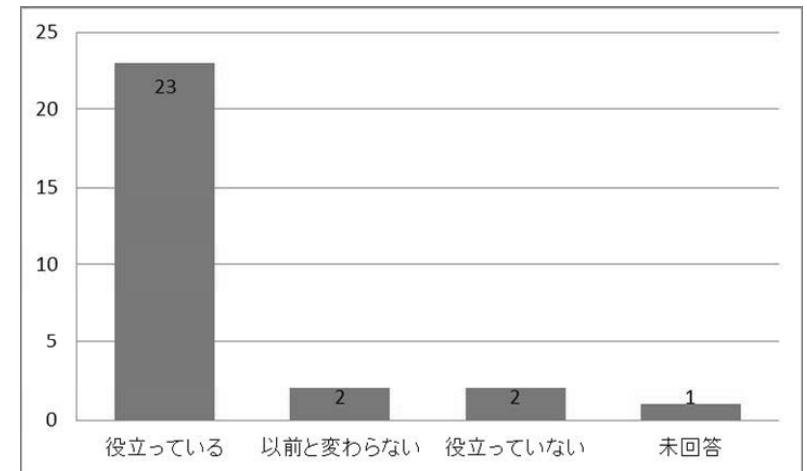


平成23年度



### (2) 習得技術の効果

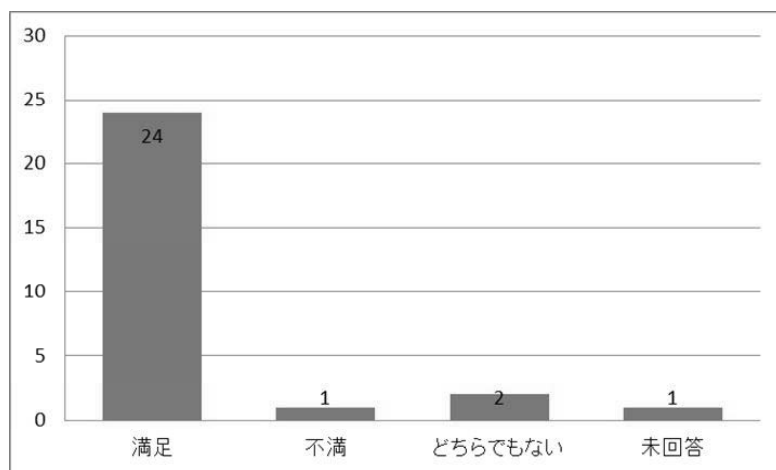
問2 受講生の習得した技術が実際の現場で役立っていますか。



「役立っていない」の理由として、「受講後直ぐに退社した」の意見がある。

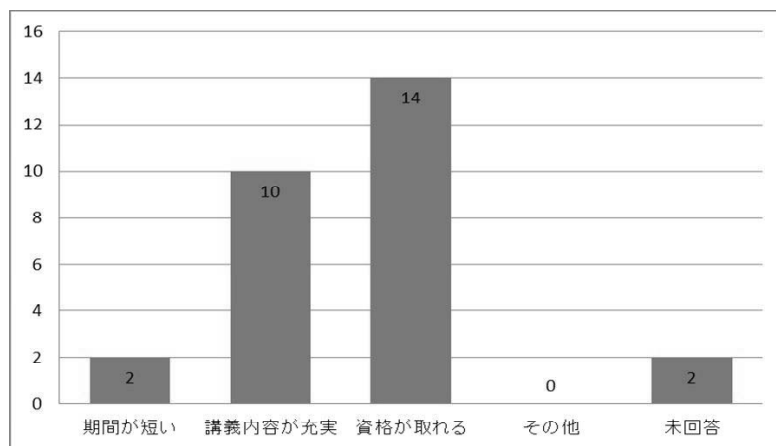
(3) 研修内容の満足度

問3 研修の内容は満足できるものでしたか



(4) 講義内容の良かった点

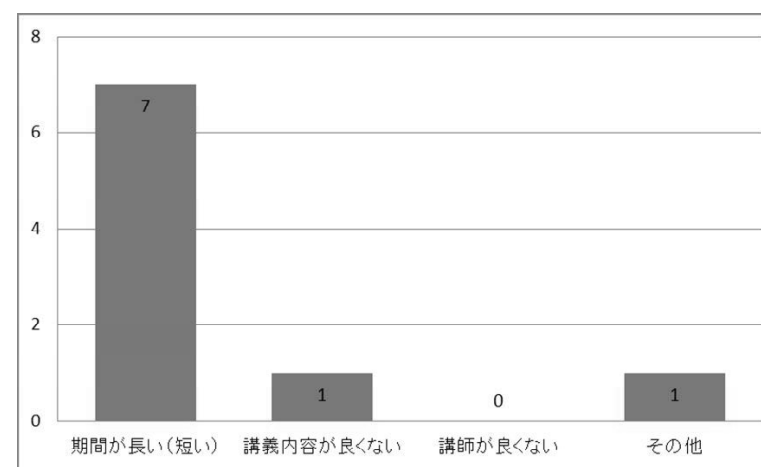
問4 講義内容ではどういった点が満足でしたか。



「資格が取れる」の回答数が一番多く、次いで「講義内容が充実」の回答数が多い。

(5) 講義内容の悪かった点

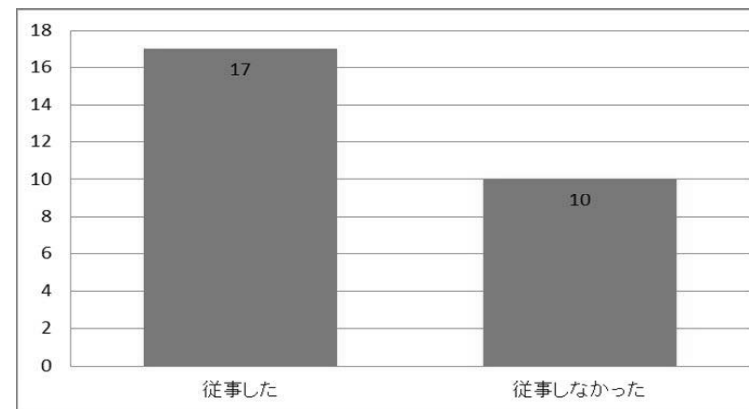
問5 講義内容ではどういった点が不満でしたか。



「その他」の意見として、「現場での実施時間（実技教習）が少ないと思われた」がある。

(6) 受講生の従事の有無

問6 あなたの会社から研修を受講した作業員は、あいち森と緑づくり事業に従事しましたか。

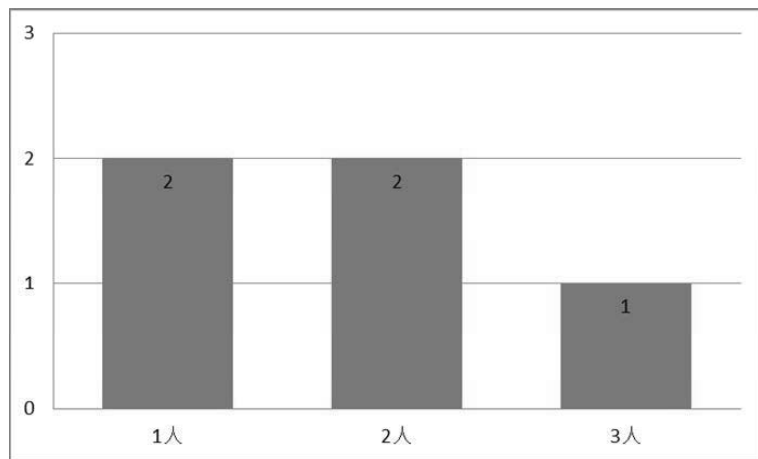


(7) 受講生の就労者数の状況

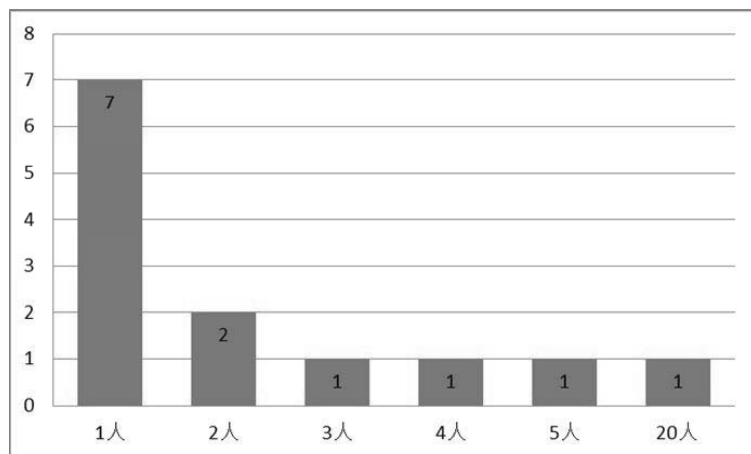
問6で「1 従事した」を選択した方のみお答え下さい。

問7 何人の方が従事しましたか。

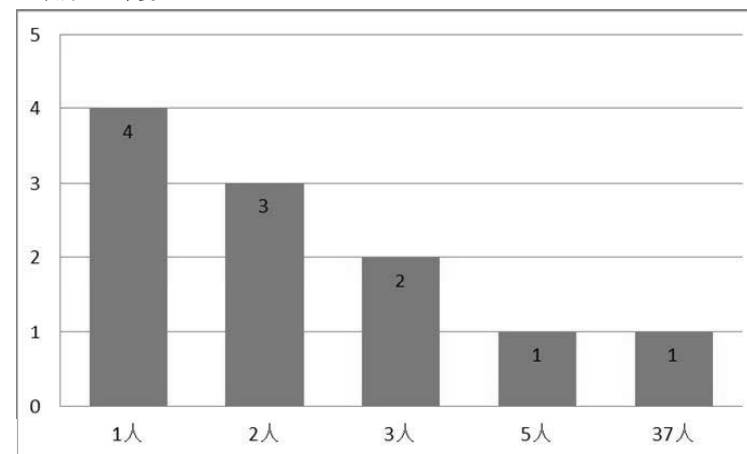
平成21年度



平成22年度



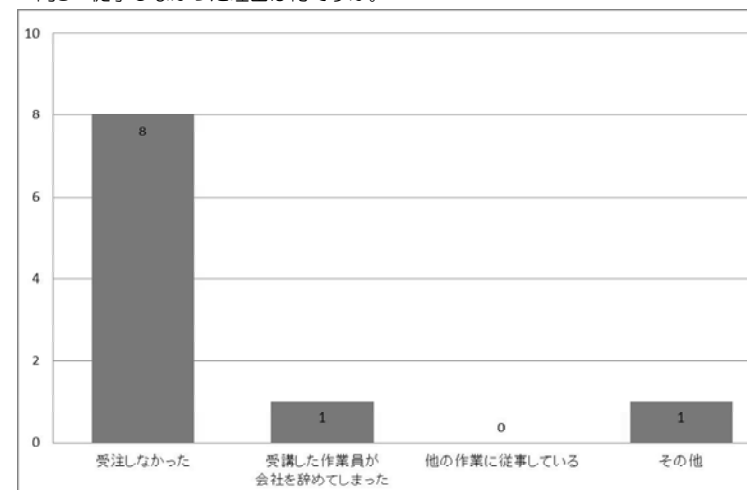
平成23年度



(8) 従事しなかった主な理由

問6で「2 従事しなかった」を選択した方のみお答え下さい。

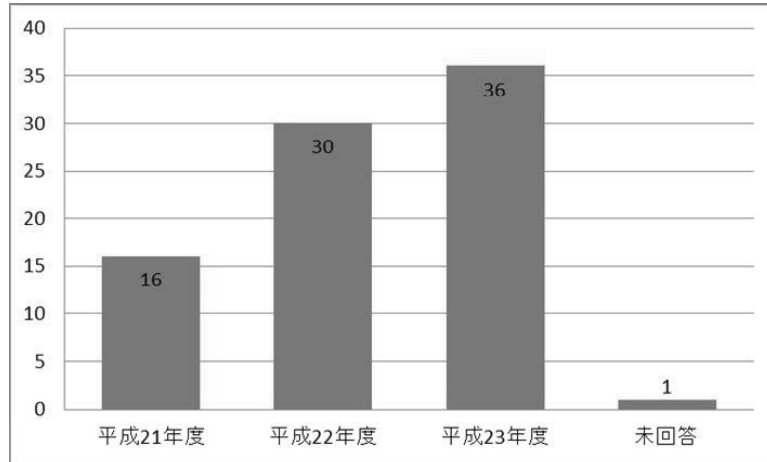
問8 従事しなかった理由は何ですか。



## 12 森林整備技術者養成研修 受講者アンケート

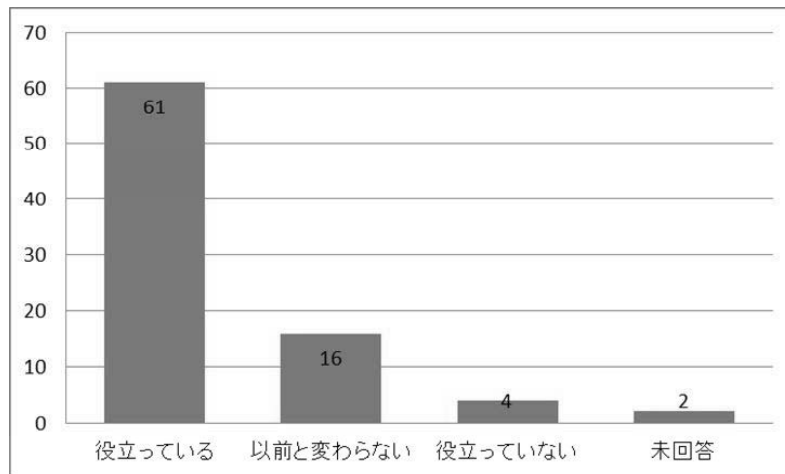
### (1) 受講年度の状況

問1 森林整備技術者養成研修を、いつ受講しましたか。



### (2) 習得技術の効果

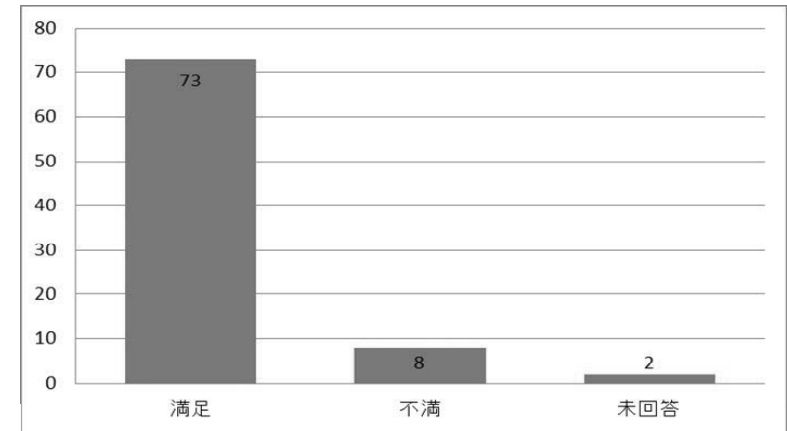
問2 習得した技術が実際の現場で役立っていますか。



「役立っていない」の理由として、「取得した資格を使用する機会がない」などの意見がある。

### (3) 講義内容の満足度

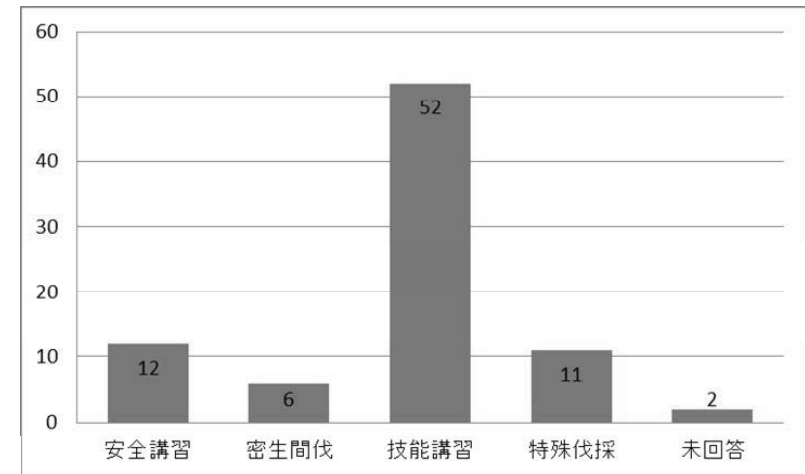
問3 あなたが受講した講義内容は、満足できるものでしたか。



「不満」の理由として、「期待したほどレベルが高くなかった」、「講師が多かったのは良いが、教え方がバラバラで混乱した」などの意見がある。

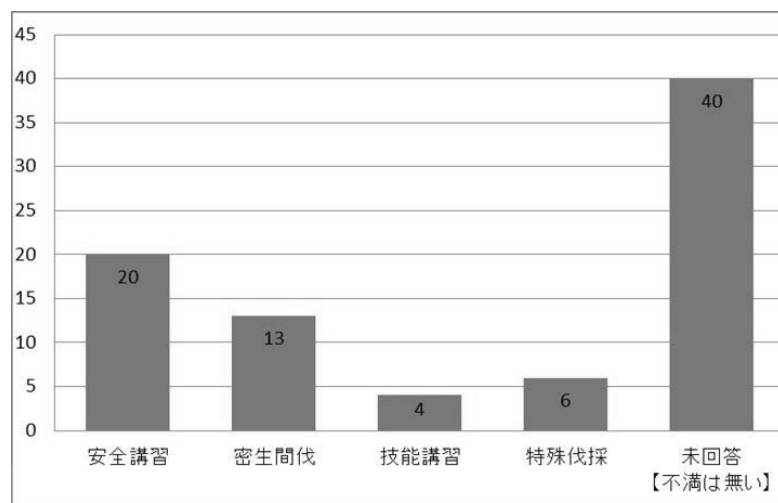
### (4) 講義内容の良かった点

問4 あなたが受講した講義内容で、満足できるものは何でしたか。



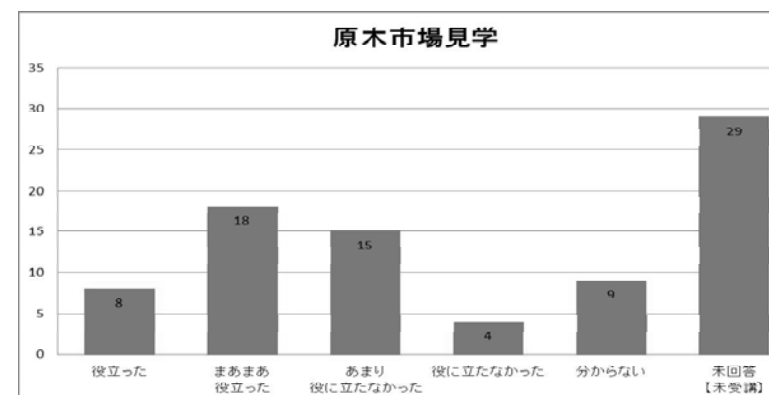
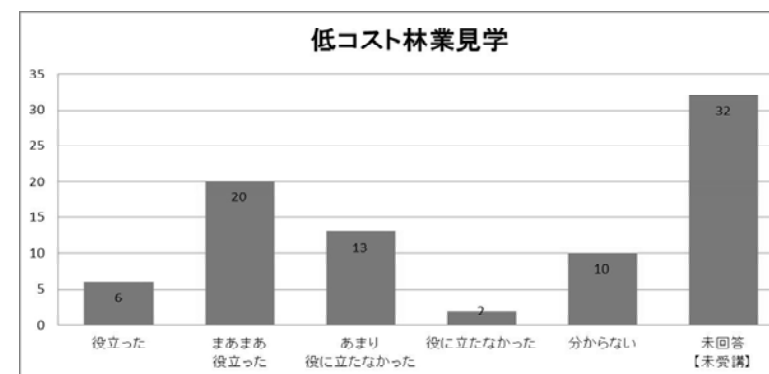
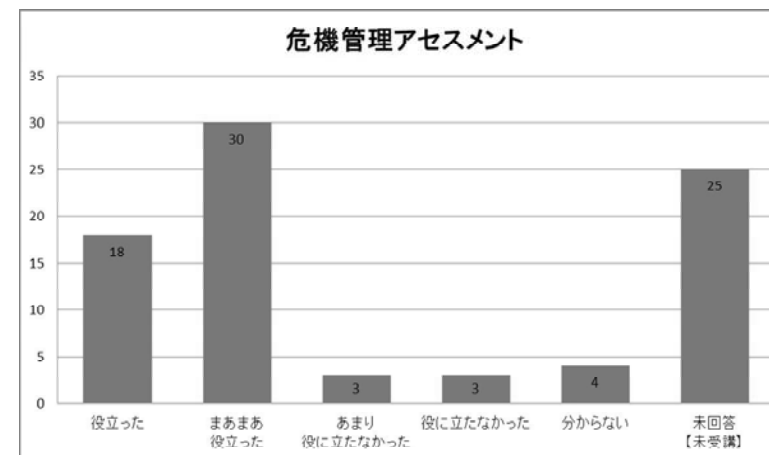
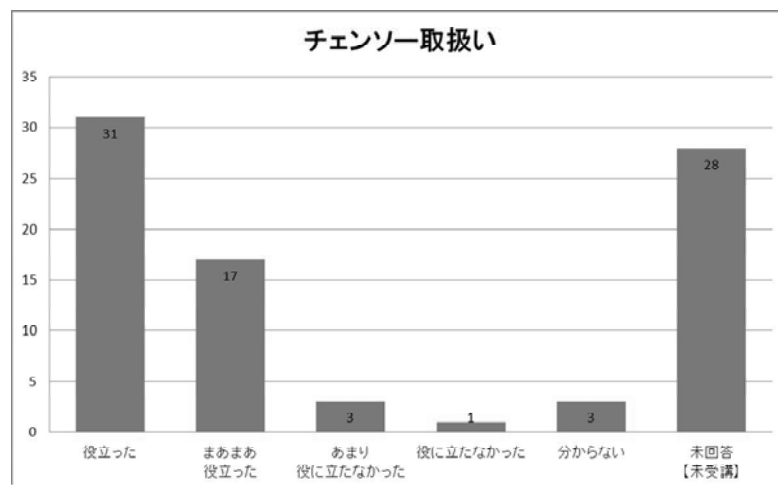
(5) 講義内容の悪かった点

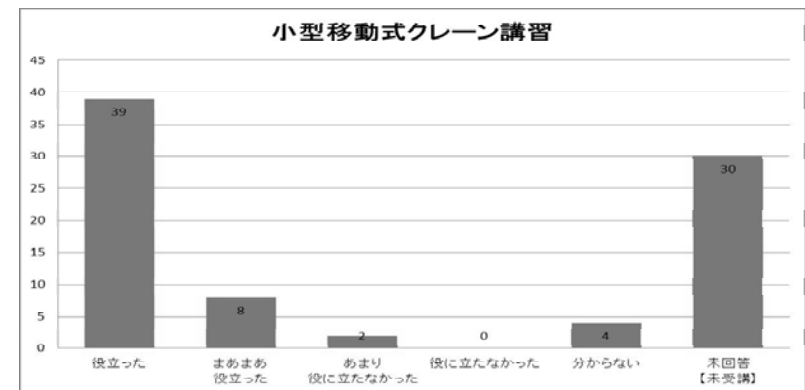
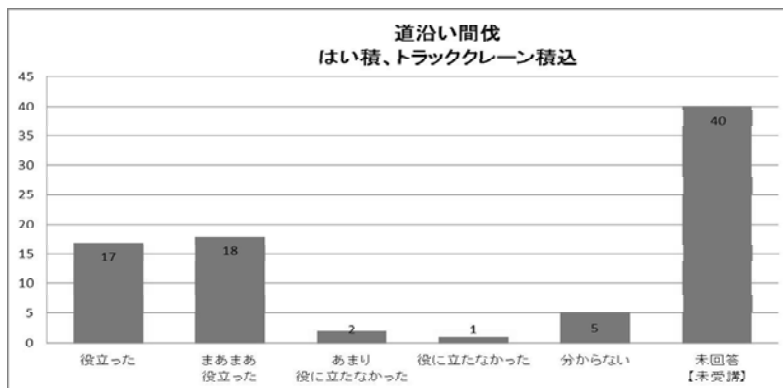
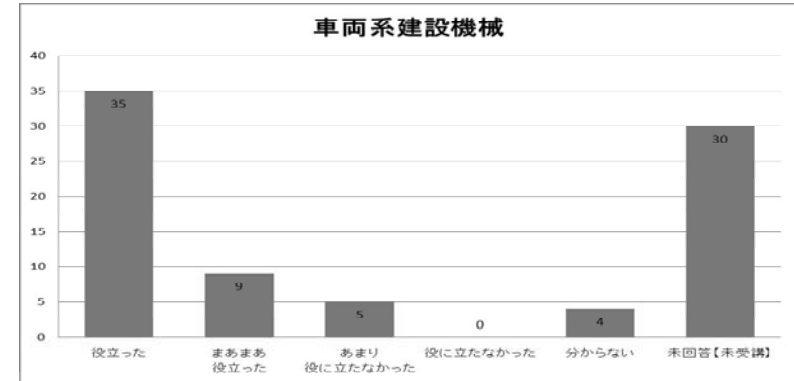
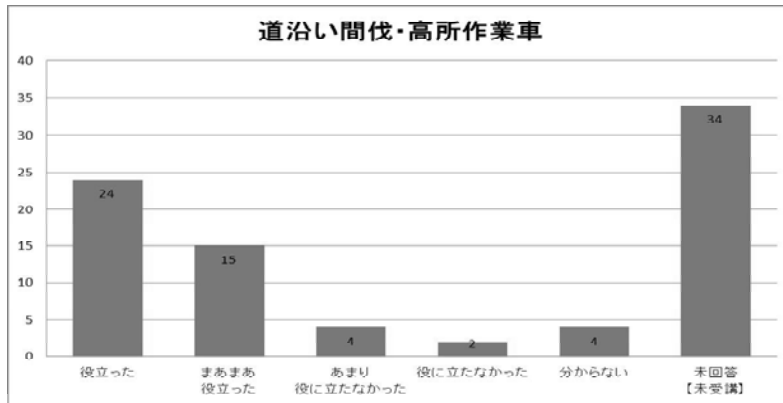
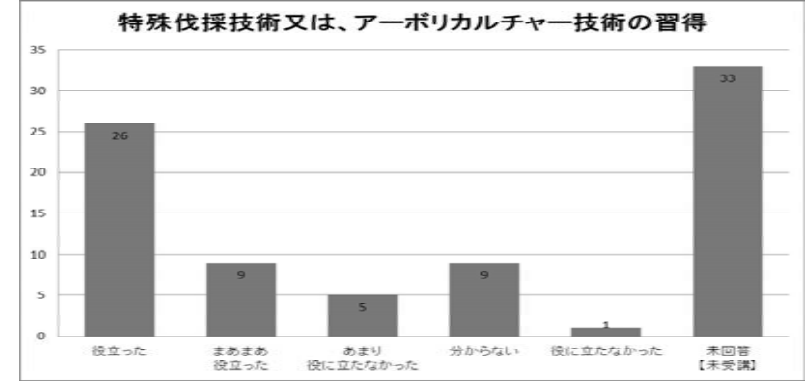
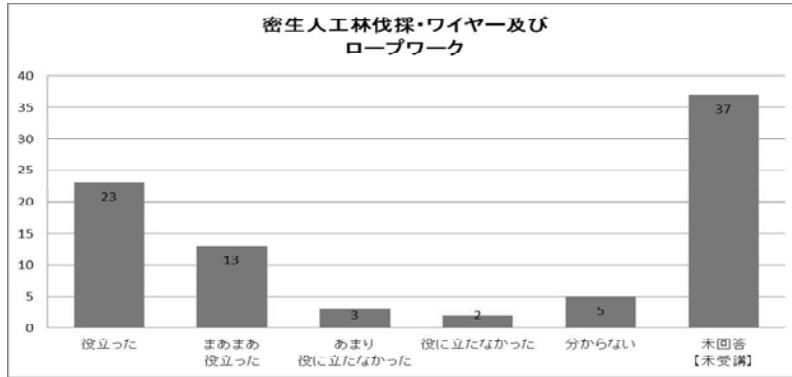
問5 あなたが受講した講義内容で、不満だったものは何でしたか。

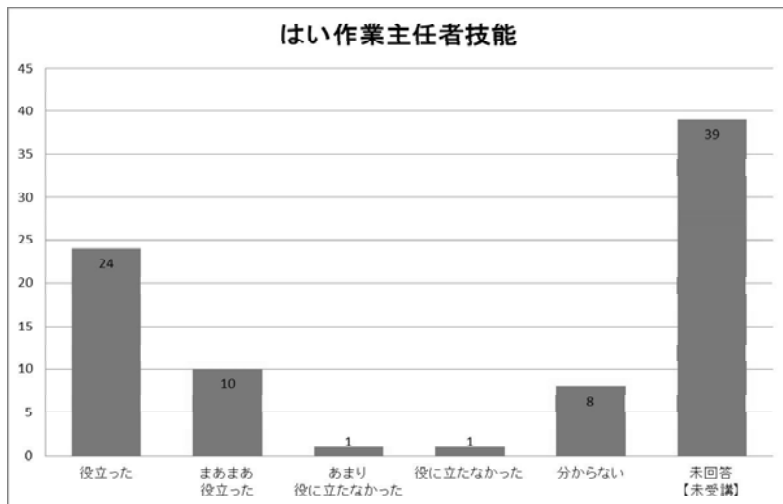
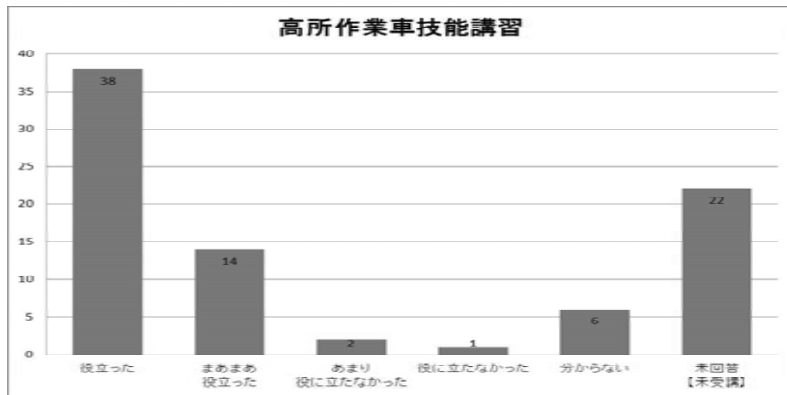


(6) 役立った受講項目

問6 研修を受講した後、日々の作業の中で研修内容が役に立ったかどうかを教えてください。なお、あなたが研修を受講した項目についてのみ回答してください。



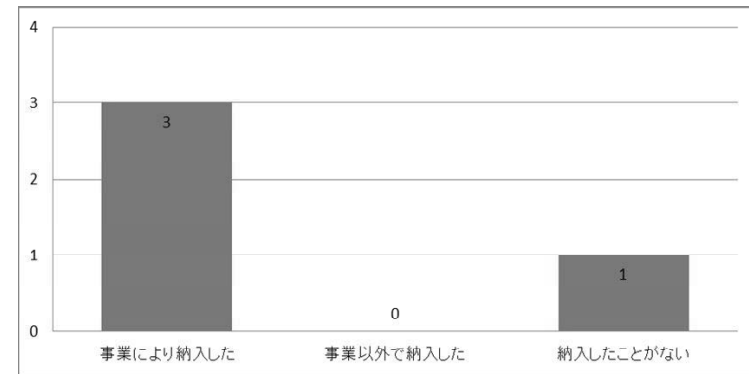




## 13 木の香る学校づくり推進事業 机・椅子製造販売業者アンケート

### (1) 国産木材の机・椅子納入の有無

問1 愛知県では、木の香る学校づくり推進事業を実施していますが、愛知県内の小中学校に国産材を使った木製の机・椅子※を納入したことがありますか。ある場合は、納入先の市町村名も御記入ください。

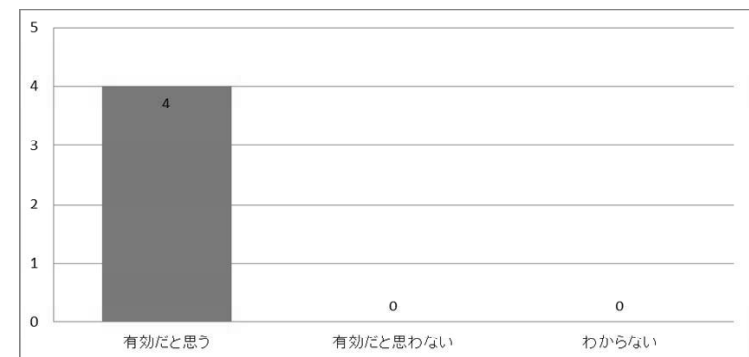


※木製机・椅子とは、少なくとも机の天板、椅子の座面及び背面のどこか触れられる部分に国産材が使用されているもの

事業により納入した市町村は、名古屋市・豊橋市・新城市・東栄町・豊根村がある。

### (2) 事業の有効性

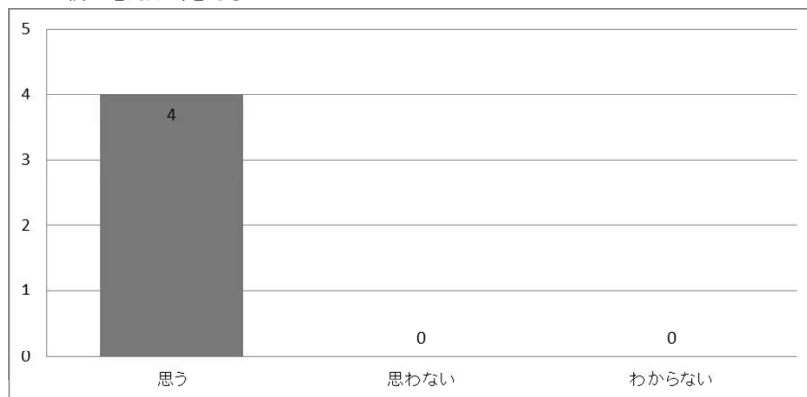
問2 木製机・椅子※の導入は、森林整備の意義や木材活用の効果について普及啓発を図るのに有効だと思いますか。



※木製机・椅子とは、少なくとも机の天板、椅子の座面及び背面のどこか触れられる部分に国産材が使用されているもの

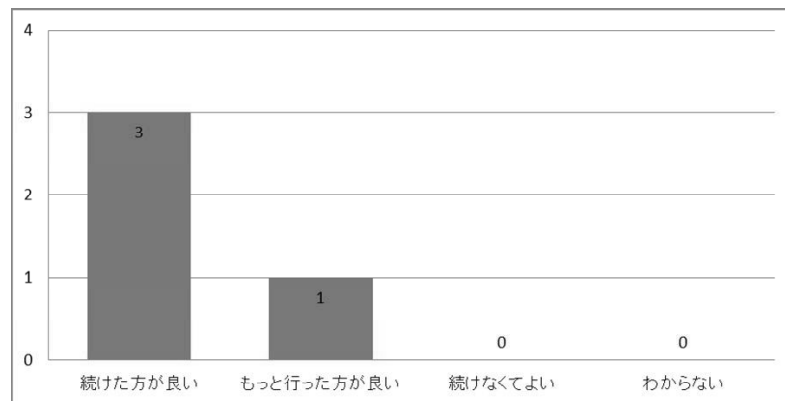
(3) 事業実施による効果

問3 この事業により、愛知県産木材を利用した児童生徒用学習机・椅子を導入する学校が増えた（増える）と思いますか。



(4) 今後の事業の在り方

問4 木の香る学校づくり推進事業を今後も続けたほうが良いと思いますか。



(5) その他、この事業に対する自由意見

「事業の対象を机・椅子からより広げてほしい（ロッカー・フローリングタイルなど）」、「市町村へのPR活動をしたが認知度が低い」、「10年間では市町村在住の小中学校の生徒達に行き渡らず、学校内の一部の学年だけ、又は選ばれた学校のみ使用という感じを受ける」などがある。

調査票